

Low preoperative hemoglobin A1c level is a predictor of perioperative infectious complications after esophagectomy: A retrospective, single-center study

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2024-06-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加藤, 大貴 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003661">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003661</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2854 号

Low preoperative hemoglobin A1c level is a predictor of perioperative infectious complications after esophagectomy: a retrospective, single-center study

術前 HbA1c の低値は食道切除術後の周術期感染性合併症の予測因子である：単施設後方視的研究

加藤 大貴（かとう だいき）

博士（医学）

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、176 例の食道切除後症例を術後の血糖値（BGL）と術前の HbA1c、臨床病理学的因子の検討を行った、後ろ向き単施設の研究である。

**【新規性、創造性】** 食道外科手術における周術期死亡率および術後合併症率は依然として高いとされている。術後の血糖値（BGL）と術前のヘモグロビン A1c（HbA1c）の値は、それぞれ合併症発生率や死亡率に影響を及ぼすと報告されているが、比較的低い HbA1c 値と術後合併症との関連を検討した研究は少ない。

**【方法・研究倫理】** 国立国際医療研究センター外科において、2013 年 1 月から 2021 年 10 月までに食道癌に対する食道切除術を施行した 233 例中、根治的手術を施行された 176 例を対象とした。術後 1 日の最高血糖値（max BGL : mBGL）を POD0、1、2、3、5、7 で測定し、術前 HbA1c と臨床病理学的因子の検討を行った。本研究は、国立国際医療研究センター審査委員会（NCGM-G-004166-00）の承認を得て実施された。

**【学術的意義】** 最大血糖値（mBGL）は手術後初日（POD0）に最も高かった（ $p < 0.05$ ）。HbA1c 値が 5.6 以上の症例では、手術後 1 日目、2 日目、および 7 日目に HbA1c 正常（ $HbA1c < 5.6$ ）の症例と比較して高値であった（ $p < 0.05$ ）。合併症および感染性合併症の発生率は、HbA1c 正常症例で HbA1c が 5.6 以上の症例と比較して高かった（ $p < 0.05$ ）。さらに、ロジスティック回帰分析では  $HbA1c < 5.6$  は感染性合併症の有意な予測因子であることが示された（ $p < 0.05$ ）。

**【考察・今後の発展】** 本研究は、HbA1c の低値が食道切除後の感染性合併症の危険因子であるという初めての報告であった。因果関係については不明な点も多く、さらなる研究が必要である。

よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。